

❄️待望の雪❄️

昨年の雪不足と猛暑の影響で、夏には全ての雪が溶け稼働できていなかった雪室ですが、1月中旬と2月上旬にまとまった雪が降ったことで、ようやく待望の雪入れ作業がスタートしました。

また、恵みの雪により大鬼谷オートキャンプ場には“巨大かまくら”が登場！スタッフが約1週間かけて建造し、天井の高さは2メートル越え！新聞やテレビにも取り上げていただきました♪

一方、直売所の売場は生鮮品が品薄状態となっていますが、道の駅連携コーナーには高知県の道の駅クラッセ室戸からナス、ピーマン、ミニトマト等の夏野菜、交流のまち大崎上島町からは柑橘類が入荷し、この時期にはない、新たな魅力として売場の賑いづくりの一助となっています。

道の駅たかの 2025.2.5

(広報・企画グループ)

庄原市高野町下門田49

☎0824-86-3131

michieki_tak@takanoyama.jp

<https://www.takanoyama.jp>

★Twitter・インスタも更新中♪



20人以上が入れる巨大かまくら。

“勝手に”「第1回雪像グランプリin芝生広場」開催

1月中旬の大雪で高野町では60センチを超える雪が積もり、雪原となった道の駅の芝生広場ではご来店されたお客様が思い思いの雪像やかまくらを多数制作。素晴らしい作品があまりにも多かったため『“勝手に”第1回雪像グランプリ』と称し“勝手に”優秀作品を選び、道の駅公式Instagramで“勝手に”表彰をさせていただきました♪

見事グランプリに輝いたのはディズニー映画「アナと雪の女王」のキャラクター「オラフ」を制作したご家族で、歯まで精巧に再現された製作時間はなんと4時間越えの超大作！Instagramでの発表をご覧になられ再度来店いただきました。根波駅長より賞品として比婆牛を“勝手に”贈呈させていただきました。雪にあまり馴染みのない中国地方では重要な観光資源。今後も“勝手に”雪を活かした面白いイベントを企画していきます（笑）



完成したてのオラフ像。眉毛や鼻は直売所で購入したさつまいもで表現。



グランプリ受賞のご家族の皆さんと根波駅長。



他にもたくさんの魅力的な雪像やかまくらが♪

裏面につづく♪

第28回 雪合戦ひろしま2025in高野

2月2日（日）、高野スポーツ広場にて、『第28回雪合戦ひろしま2025in高野』が開催されました。先日降った雪で久々に雪のある大会となり、遠くは福岡県からなど全51チームが集結。雪上の熱き戦いの結果はジュニアの部で「HF-Jr.A（ハイフィールドジュニアA）」が、一般の部Pリーグでは「雪村時代（ゆきむらじだい）」と、地元高野町の2チームが見事優勝を飾りました。

またハーフタイムショーでは広島県立三次高等学校在学中で、テレビ東京『THEカラオケバトル』の四天王として活躍されている“歌うま高校生”こと久保陽貴（くぼ はるき）さんによるステージもありました。なんと県外からファンが駆けつけるほどの大人気でステージを盛り上げてくださいました♪高校卒業後は関東の大学に進学され、東京を拠点に音楽活動が続けられるそうです。

他にも会場では、グルメ屋台や雪中宝探し、体験コーナーに閉会式後の餅まきなど、大会中は終始大賑いでした。そして道の駅にも大会関係者の方にご来店いただき雪合戦が主役となった一日となりました♪



会場の至る所で熱戦が繰り広げられていました！審判員など大会運営スタッフの皆さんもお疲れさまでした♪

久保陽貴さんのステージ。圧巻の歌唱力で1曲ごとに大きな拍手が起こっていました。

春に向けて

2月3日（月）、タキイ種苗さんを講師にお招きし、栽培講習会を道の駅たかのと庄原市ふれあいセンターの2会場で開催。

総勢30名以上の出荷者の皆さんにご参加いただき、講習会後には早速、春撒き用の種を注文されていました。

今回参加できなかった方に対して種苗カタログをご用意しております。ご希望の方はお気軽に道の駅スタッフまでお声がけ下さい。



道の駅たかの（写真上）、庄原市ふれあいセンター（写真下）開催時の様子。

2月のイベント予定

2月 8日（土）	道の駅たかの出荷者協議会令和7年通常総会（上高自治振興センター）
2月15日（土） 2月16日（日）	大崎上島町産業文化祭「すみれ祭り」（豊田郡大崎上島町） 出張販売
2月18日（火）	庄原里山マルシェ@広島駅新幹線口（広島市） 出張販売